



株式会社 Dプライブ
法人営業課新人

Ryuji Ojira 小代 隆志

◆「週連続の大型台風 暮らしを守る」
「この建物は、風向きによつて雨が吹き込むので、確認を。この共用部のドアは、風で開かないよう

▲台風時の物件巡回で、警戒を呼び掛け

固定を確認して…」台風対策本部の出動前の打ち合わせ、ビルメンテナンス課の先輩が、まるで自宅のことを話すように、管理物件のことを説明。台風などの災害時に、的確な対応をするには、日頃から、管理している建物を「知る」ことが、まず何より重要であることを学びました。
建物を巡回し、安全を確認しましたが、建物は人の暮らしを守るものだと改めて実感しました。



▲他チームのプレゼンに学ぶ

◆「甘すぎた試験勉強」
昔から、試験といえは、短期集中で乗り切つて来た自分ですが、宅建はそんなに甘くはありませんでした。もっと、自分を厳しく追い込んで、勉強をしなければと反省。気合を入れなおし、来年を目指します。



ダイニチ新人業務日誌

Vol.10

「街とダイニチ」

2週連続で大型の台風に見舞われた10月。新人たちも、対策本部の一員となり災害対応にあたりました。同じ時期に、青年会議所の浦安の未来を考える事業に参加。浦安という街について考えるきっかけとなりました。そして宅建試験の手心えは…。



浦安市北栄 1-16-3
TEL.047-354-0123
http://dainichi.co.jp

株式会社 ダイニチ
リーシング推進課新人

Keisuke Tsukada

塚田 圭祐

◆「週連続の大型台風 力をひとつに」

「駐車場に雨が浸水。現場に急行願います」

会社からの指令を受け、先輩たちと共に、建物か

浦安青年会議所の事業に参加し、30年後の浦安を

◆「未来のうらやす 浦安の可能性」

私たちがグループは、同期の小代と、今年グループで、合格ラインに近い点数を出せていました。意気込

浦安という街について考えるきっかけとなりました。そして宅建試験の手心えは…。



▲台風対策チームの朝礼で気合いが入る

ら建物へと回りました。土嚢を積んだり、ポンプで排水したり、飛んできたものを片付けたり、台風の被害を拡大させないため、部署の隔てなく、ダイニチの力をひとつにして対応。自分がその一員であること、街の安全に役立っているという実感に、胸が熱くなりました。



▲読んでいるのに緊張で言葉を噛む

身近に「水を浄化し泳げるように」…そんな風に街の可能性を拡げていく過程で、街の中のダイニチを考へることもつながりました。発表は、緊張で噛み噛みでしたが…。

◆「宅建受験報告 こんなはずでは…」

試験の直前の社内横断期で、合格ラインに近い点数を出せていました。意気込んで本番に臨んだものの、自分の理解の甘さを痛感。発表はまだですが、自己採点は不合格。来年に向け、勉強を継続していきます。